

令和8年度 第1回 サイクルツーリズム推進連携会議（議事録）

<議事次第>

日時：令和8年5月27日（水）14：00～15：30

場所：コンシェルジュフラノ2階 大ホール

■出席者

<委員>

中村委員、秋元委員、石出委員、浅野委員、桑島委員、藤澤委員、後藤委員、エバンズ委員
（計8名）

<事務局>

対馬主幹、笹田係長、早川（計3名）

1. 開会

事務局より開会が宣言され、本日の司会進行を務める旨の挨拶があった。

2. 委員自己紹介

本会議が第1回目であることから、事務局の進行により、配付された委員名簿の順に各委員からの自己紹介が行われた。続いて、事務局を務める市関係部局の出席者の紹介が行われた。

3. 議事

（1）会長・副会長の選出について

富良野市サイクルツーリズム推進連携会議設置要綱第5条に基づき、委員の互選により選出することとなるところ、石出委員より事務局案の提示を求める発言があった。

事務局より以下の役員案が提示された。

- ・会長：中村委員（一般社団法人ふらの観光協会 副会長）
- ・副会長：後藤委員（ウレシパ・フラノ）

委員全員の拍手をもって、満場一致で承認された。

※以降は、中村会長が議長として進行。中村会長より就任の挨拶が行われた。

(2) 富良野市サイクルツーリズム推進計画の策定に向けて

事務局より、資料2に基づき計画の構成案について説明が行われた。冒頭、本計画の構成案及び記載内容は作製途中の段階であり、今後の先進地視察や関係機関との調整を踏まえ、内容が大きく変更になる可能性がある旨が共有されたうえで、全体説明が行われた。

その後、委員間で意見交換が行われた。

■環境・インフラについて

- ・「悪路面（ひび割れや段差）の解消はスポーツサイクルにとって死活問題であり、優先的に補修を進める仕組みが必要ではないか」との指摘があった。
- ・道路管理者間の連携について、「市道だけでなく、国道や道道も含めて連続性のあるブルーライン等の整備を進めるべき」との意見が示された。

■情報発信・受入環境について

- ・インバウンド客の増加を踏まえ、「案内看板やピクトグラムの多言語対応は早急に進めるべき」との認識が共有された。

■周遊・二次交通について

- ・「富良野駅等を拠点とする場合、鉄道やバス等への自転車持ち込み（サイクルトレイン等の実証）について、交通事業者と早期に協議を進めてほしい」との要望があった。

■安全・ルール（農業との調和）について

- ・「基幹産業である農業を守るため、農地への立ち入り禁止等の富良野独自のローカルルールを事前に周知することが最も重要」という危機感が共有され、レンタサイクル貸出時等の具体的な周知方法の必要性が指摘された。

中村会長より、出された意見を今後の計画策定に向けて反映・検討していくことで了承された

(3) トカプチ400視察内容・日程について

事務局より資料4に基づき、トカプチ400の視察目的、視察行程および候補日程等について説明が行われた。

各委員のスケジュールを確認のうえ日程調整を行った結果、6月23日を第一候補として関係先と調整を進めることとなった。

4. その他

(1) 今後のスケジュールについて

事務局より、以下の今後のスケジュールについて説明が行われ、了承された。

令和8年6月 第2回会議 先進地（トカプチ400）視察

令和8年10月 第3回会議 推進計画事務局案の確認

令和8年12月 広報ふらの12月号にてパブリックコメント
令和9年2月 第4回会議 推進計画最終確認
令和9年3月 第5回会議 推進計画最終確認（予備日）

5. 閉会

中村会長より、円滑な議事進行および活発な議論への謝意が述べられた。
事務局より特段の連絡事項がないことが確認され、閉会した。

【配布資料】

- ①議事次第
- ②資料1 富良野市サイクルツーリズム推進連携会議委員名簿及び設置要綱
- ③資料2 富良野市サイクルツーリズム推進計画の策定に向けて
- ④資料3 富良野美瑛地域自転車活用推進計画
- ⑤資料4 トカプチ400視察（案）について